

作成日：2025 年 4 月 17 日

研究協力をお願い

昭和医科大学と日本女子大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

心疾患の発症・増悪と栄養摂取状況および血中アミノ酸・脂質分画との関連に関する研究

1．研究の対象および研究対象期間

2014 年 3 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日に昭和医科大学病院で入院治療を受けられた患者さん。

2．研究目的・方法

食事やその中に含まれる成分は人の行動に様々な影響を与えていると考えられています。冠動脈疾患では食後高血糖や食後高脂血症など糖脂質代謝異常症を呈する例が多いです。食後高血糖、食後高脂血症の成因にはインスリンが効かない状態があり、コレステロールや中性脂肪を運搬するリポ蛋白が変化します。この変化したりポ蛋白が酸化ストレスや血液の固まりやすさに関連することが知られています。糖脂質代謝異常症の予防・治療には食事・運動など生活習慣の改善が必須です。様々な食事療法の効果が報告されていますが、未だ議論の余地があります。

心血管疾患発症直前の食事内容や栄養素の摂取とストレス、血液性状や味覚の状態を定量的に測定し、関連性を解析した研究はありません。

本研究はこの解明のために行われます。

3．研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2029 年 3 月 31 日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

【調査項目】

- ・ 入院時血液
- ・ DHQBOX（栄養解析ツール）：入院後早期の安定期に約 15 分間の質問表で実施
- ・ 臨床情報：年齢、性別、身長、体重、腹囲、体脂肪量、病名、心疾患の病態、血液検査項目（血算、血清蛋白、腎機能、肝機能、脂質値、また脂質の詳細な検査項目（脂肪酸分画、アミノ酸分画、アポリポ蛋白、レムナントリポ蛋白コレステロール、Lp(a)）

5．外部への試料・情報の提供

多機関共同研究の場合

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和医科大学病院の外部から切り離されたコンピューター内およびUSBメモリにパスワードを設定して保存されます。データの保存媒体であるUSBメモリにもパスワードを設定し、セキュリティの高いレターパックプラス（赤）を用いて、共同研究機関である、日本女子大学に郵送します。

6．研究組織

研究代表者	昭和医科大学 医学部 内科学講座 循環器内科学部門	木庭 新治
共同研究機関	日本女子大学家政学部食物学科栄養教育・臨床栄養学研究室	亀山 詞子

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学 医学部 内科学講座 循環器内科学部門 氏名：木庭 新治

住所：東京都品川区旗の台1丁目5番8号

電話番号：03-3784-8539